

日本 GIF 2025 年度 夏期インターンシッププログラム 実施報告書（概要版）

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

実施概要

- 大学の学部生を対象に、調査研究体験を通じて、グローバル・インフラストラクチャーへの関心を喚起することを目的とした。
- 10名のインターンを5名×2チームに編成した。
- 夏期休暇中の約2ヶ月間（8～10月）に、チューターのオンライン指導のもと、チームで調査研究を実施。成果発表、学術論文形式の論文作成を行った。

今年度の調査研究テーマ

- テーマ：指定文献『21世紀への階段』に記載された、グローバルインフラに関する未来予測の検証
- 指定文献：『21世紀への階段』〈復刻版〉（2013）弘文堂
- 各チームに、抽選で以下の章を割り当て、その内容を検証。
 - チーム① 第5章：「都市と農村の握手」
 - チーム② 第11章：「地球を拓く」
- 予測が「実現したもの／実現しなかったもの」を単に事実確認するだけでなく、実現しなかったものについては「その理由」の考察に重点を置いた。主な方法は文献調査とした。

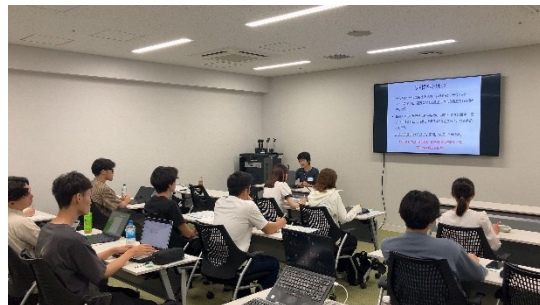
実施形式

- 8月初旬：東京都内の研修型ホテルにて、1泊2日の宿泊型対面ミーティングを実施。自己紹介、調査研究テーマについての説明、論文の書き方についてのレクチャー、懇親会、2チームに分かれてのチームミーティングを行った。
- 8月～9月：チューターの指導によるオンラインミーティングを4回実施。
- 10月初旬：東京都内の研修型ホテルにて対面ミーティングを実施。チームミーティングの後、成果発表会を実施（有識者が講評者として参加）。修了証の授与、記念撮影、懇親会を行った。後日、論文を提出。

アンケート・感想

プログラム終了後、参加したインターンに対し、アンケートへの回答を依頼した。本プログラムを知った経緯、参加を決めた理由や魅力に感じた点、本プログラムに対する評価とそ

の理由、参加を通じて「グローバル・インフラストラクチャー」への関心が高まったかどうか、感想、要望等、貴重な意見を得た。



以上